

令和4年3月3日 第18号
 宮崎県看護協会 保健師職能委員会
 宮崎市学園木花台西2丁目4-6
 (宮崎県看護協会内)

～保健師職能だより～



保健師職能委員長 高妻 真子

「ひとりじゃない。分かち合える仲間がいるよ・・・！」新型コロナウイルス感染症拡大がひとまず落ち着いていた昨年12月、念願の保健師職能交流会(つどい)を開催(本誌 P4)しました。感染対策を十分に行いながら、会場は終始リラックスした空気に包まれました。講師の笑いの中にも芯のある生き方に共感したり、さまざまな職域からの話題提供に共通点を見つけ「私もそうそう・・・」と心の中でうなずいたり・・・職場や年代が多様だったからこそ、新鮮な交流の場と

なったようです。

このように、今年度は、前年度の県看護協会活動に関するアンケート結果を基に、長引くコロナ禍で奮闘する保健師をバックアップしようと、研修の企画においても受講しやすい研修体制を整え、6月と8月には会場とWebでつなぐハイブリッド方式で災害対策やコロナ関連の研修会を開催しました。最近、全国的な学会等もWebで行われる機会が増えましたね。各方面のネット環境が整備されていくことで、今後コロナ収束後も遠方の講師や旅費に優しい形として今後も十分経験を活かしていきたいものです。

また、今年度の会報から、職場の普段の保健師活動紹介として、リレー方式で県内の活動拠点を巡回する掲載をスタートしています。内容として、何らかの実績報告はもちろんですが、普段の活動について会員非会員に関係なく寄稿いただくことで、県下保健師のつながりを感じてもらえれば幸いです。来年度は、令和4年6月11日(土)に、今年度の第2弾として、3職能合同企画で「災害時に備えた看護活動」に関する研修会を開催します。熊本地震、豪雨災害を経験した熊本県の保健師と看護師の講演企画です。また、8月6日(土)には日本看護協会保健師職能常任理事の鎌田久美子氏(元福岡県保健師)をお迎えして、看護協会としての動向や各県の特徴的な活動についてご講演頂く予定です。

国は、今年2月、地域保健対策の推進に関する基本的な指針を一部改正し、感染症対策をはじめとする健康危機管理に係る人材の確保や全庁的体制の整備を強化する旨の通知を行っています。そこには、平時から地域保健に係る知見を有する教育機関や、専門職能団体等との連携が示されています。看護の専門職能団体として、その一翼を担えるよう、これからも変化の大きい保健師ニーズに対応する委員会活動を目指してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【CONTENTS】

- P2 令和3年度保健師職能委員会報告
- P3 県看護協会の紹介
- P4 保健師のつどい
- P6 宮崎県保健師の力育成事業
- P9 新規入会者紹介
- P10 保健師の卵
- P11 先輩保健師からのエール
- P13 保健師のひろば～リレーメッセージ～
- P14 編集後記



保健師の入会状況 229名
 (令和4年1月31日現在)
 県内の就業保健師数 700名
 (令和2年10月1日現在)

令和3年度 保健師職能委員会報告

1. 保健師職能委員

- ◆委員長：高妻 真子(県中央保健所) ◆副委員長：後藤 由佳(県都城保健所)
- ◆委員：安藤 優子(都農町役場)、池田 浩子(宮崎市保健所)
岩崎 恵子(健康づくり協会)、横山 千穂(国富町役場)



2. 保健師職能研修会（3職能4委員会合同）

※3職能4委員会とは、保健師・助産師・看護師（I・II）の3職能により4つの委員会活動を行っています。

◆令和3年6月27日（日）開催

- (1) 講義「災害対策に関する宮崎県の取り組み」
講師：宮崎県危機管理課 瀬尾 隆太 氏
- (2) 講義「災害時における看護職の役割を知る」
講師：国際医療福祉大学大学院 教授 石井 美恵子 氏

「災害時における看護職の役割を知る」ことをテーマに、国際医療福祉大学大学院教授の石井美恵子先生にご講演いただきました。

災害が発生した際の医療従事者としての対応や院内における策定体制の必要性、安全確保に配慮した自主参集システムの作成の重要性などについて、具体的に、わかりやすいお話があり、普段の業務においてどのように取り組むべきか、改めて考える機会となりました。

3. 保健師職能研修会

◆令和3年8月7日（土）開催

- (1) 講演「新型コロナウイルス感染症の今」
講師：愛泉会日南病院疾病制御研修所 所長 峰松 俊夫 氏



新型コロナウイルス感染症に関する最新の知見を多くの関係者に発信すべく峰松先生にご講演いただきました。

MERS や SARS ほど致死率は高くはありませんが、感染力が強く広がりやすい傾向にあり、免疫老化により若者に比べ高齢者は重症化しやすいということ、肺胞の発達途中にある2歳未満の子どもも呼吸不全に陥りやすいということでした。

感染防止策としてマスクの着用についても双方向でしっかり着用することでかなりの効果があるということを示して説明いただきました。また、ワクチンについても今承認されているそれぞれのワクチンの特徴を丁寧に説明いただき、デマは振り回されることなく正しく理解した上でワクチン接種に臨むことが大切であることをお話しく下さいました。

※8/12～8/31の期間、オンデマンド配信をいたしました。

4. 「保健師の力育成事業」への参加

- (1) 宮崎県保健師現任教育推進会議 年2回(通常)
- (2) 段階別保健師研修運営委員会 年4回(通常)



5. 「保健師職能だより (さくら)」の発行

発行部数 320部

～あなたの疑問にお答えします～

保健師職能って、何ですか？



『職能』とは、自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織です。
保健師職能は、日本看護協会の中に位置づけられていて、各都道府県にある看護協会でも委員会で活動し、保健師全体の質の向上や待遇改善につながるよう研修会などの活動をしています。

聞きづらいのですが…

看護協会に入るメリットって何ですか？

宮崎県看護協会では大きく次の活動をしています。

- ① 看護職の生涯学習とキャリアアップ支援
- ② 県内7地区で地域に根差した活動の展開
- ③ 看護のこころを伝え、広げる活動の実施
- ④ 看護職の働き方を共に考え、復職へのサポート
- ⑤ 在宅ケア推進のため、訪問看護の質向上
- ⑥ 災害支援活動

あと、会員になることで、研修参加費が通常の半額になったり、「看護職賠償責任保険制度」に加入できたりします。



そうなんです！

知らなかったです。私も入ろうかな～

ぜひ♪同じ保健師の仲間として、一緒に活動して、更なる質の向上を目指しましょう☆

県看護協会に興味を持ったら、こちらへご連絡ください♪
キャリアース(Web)上で、新規入会、再入会の手続きが可能です。

公益社団法人宮崎県看護協会

電話 0985 - 58 - 0622

メール mkango@d2.dion.ne.jp

URL <https://www.m-kango.or.jp/>



保健師職能交流会(つどい)を開催しました

日時：令和3年12月11日(土) 13:20~16:30

場所：宮崎県看護等研修センター(看護協会)大研修室

令和2年度に県内の保健師に向けて、看護協会へのイメージアンケートを実施した際、様々な職場で働く保健師の仲間と交流(意見交換)をすることで、繋がっていききたい等の意見が多くみられたことから、開催したものです。

つどい メニュー

① 講演 『楽しい×本気=「私らしい生き方」』

講師：コスプレ美魔女講演家 相良 照代 氏

エステティシャンからコスプレ美魔女講演家になったきっかけは“女性の美は笑顔から生まれる”こと、『本』がつく生き方(本気、本心など)を大切にすると、周りも笑顔にできるという信念があったから。金ピカのツタンカーメンのマスクと話術(みやこんじょ弁)で参加者の心を鷲掴みにして、会場は大きな笑いに包まれました。

② 話題提供

テーマ「私たちの仕事・日常。ありのまま、思いのまま！
ここから広がる保健師ネットワーク」

県、市町村、事業所、在宅、看護協会から計6名の働く場や年代(20~60歳代)が異なる立場の方々から、仕事内容の紹介、業務を行う上で悩んでいること、仕事と育児、家事との両立についての悩みなどのお話を伺いました。

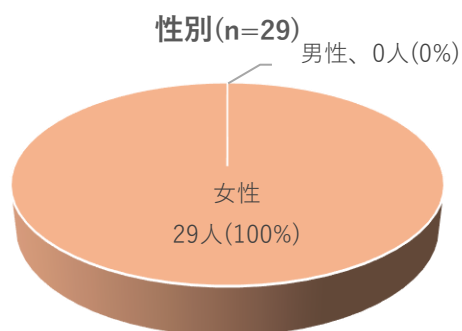
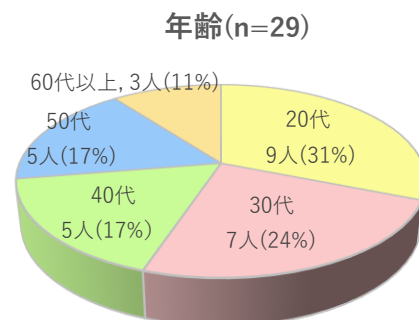
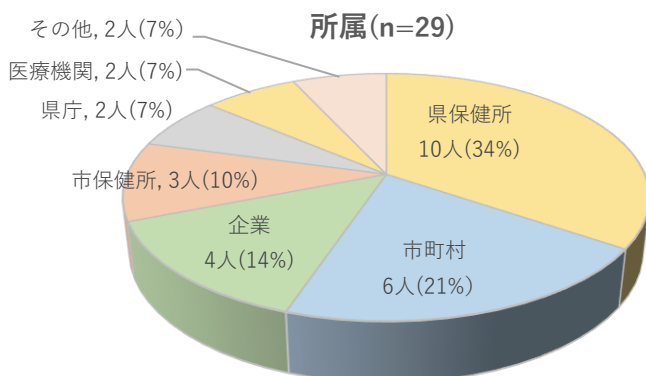


③ ワールドカフェ(情報交換の場)

約7~10人ずつのグループで車座をつくり、情報交換を行いました。あえて、司会や書記、発表者を決めなかったことで、発言したいまたは聞き役に徹したいなど、参加者それぞれの立場で参加することができました。



アンケート回収率 93.5% (29/31人)



〈感想 (一部抜粋)〉

講演会について

- ・ 初めはびっくりしたが、何事も本気で取り組むことや本心でぶつかることの大切さを面白く学ばせてもらった。
- ・ 私たちの仕事の本質を思い出した気がした。辛いこともあるけど、笑顔で！とても元気をもらえた。

話題提供について

- ・ 子育て世代であり、働き盛りの世代でもある保健師の大切にしたい姿勢が、今の自分の興味関心と重なった。
- ・ それぞれの立場からの本音を聞かせていただき共感しながら聞いた。先輩方の話がとても参考になった。

『つどい』への意見・感想

- ・ 若い人の話が聞いて良かった。特にコロナ禍の中、頑張っている様子を聞いて頼もしく感じた。
- ・ 公平に発言をしなくて良いと前もって言ってくれたのが有難かった。先輩方や他の方の話が聞いて良かった。普段話す機会のない方と交流が出来て良かった。また開いてほしい。

保健師職能研修会への要望、保健師職能委員会への意見等

- ・ 「保健師のつどい」企画に感謝。楽しかった。
- ・ 本日のような元気になる研修会を希望したい。



今回の企画は、昨年のアンケート結果から要望のあった、これまであまり交流のなかった行政、企業、医療機関と様々な分野で働く保健師同士の交流を目的としたものでした。アンケートの中からも参加者の皆さまから温かい言葉を多くいただき、私たち運営委員もこれからの活動の原動力となりました。来年度もこの活動を継続していけるよう、企画していきたいと思えます。

宮崎県保健師の力育成事業

宮崎県保健師現任教育マニュアル（改訂2版）に基づき、各自治体の特性に応じた保健師の人材育成体制が推進されています。

今回、令和3度新任保健師研修（保健師キャリアレベルA-1研修）、フォローアップ研修（保健師キャリアレベルA-2研修）、キャリアアップ研修（保健師キャリアレベルA-5研修）に参加された受講生の声を紹介します。

新任保健師研修 I 受講者の声



中央保健所 溝邊 はづき さん

新任保健師研修のなかで「新任保健師の採用が増えているため、新任保健師の育成が重要であり、新任保健師が力を身につけることで中堅、リーダー層を支えることにつながる」というお話が印象的でした。そして研修は、私たち新任保健師が現場ですぐに実践できるような内容となっており、得るものが多かったと感じています。

年間を通して、アクションプランに取り組むことで、自身の保健師活動を振り返る機会になったことや職場の上司だけでなく、担当コンサルタントの方にも相談できることで保健師としての視点が広がりました。

感染症に関する総論、防護具の着脱、面接技術や記録の書き方等の内容については、実践やロールプレイも含まれていたため、より実践的に学ぶことができました。また県の保健師だけでなく、市町村の保健師の皆さんと顔を合わせることができたことも良かったです。



木城町福祉保健課 松川 加奈 さん

私は、「療育支援が必要な児とその家族への支援方法の検討～就学時健診後の関わりを通して～」をテーマにアクションプランに取り組みました。取り組んでいく中で、思うような関わりができず苦戦していた時もありました。そのような中、助言をいただきながら進めていくことで、対象者とその家族にとってより良い支援にしていくための考え方や関係職種と密に連携を図り

支援の方向性を一致させ関わることの重要性を学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを活かしながら、今後の保健師活動に取り組んでいきたいと思えます。

フォローアップ研修受講者の声



都城保健所 平原 菜生 さん

昨年度の新任保健師研修に比べ、より発展した管内全体の健康課題に対する保健師活動を行えるよう、職場の上司やコンサルタントの先生方の厚い御指導の下、取組を進めています。

管内の小慢受給者のうち人工呼吸器を装着している方々の家庭訪問を行う中で、ひとつひとつの事例の声を拾い、丁寧に積み上げていく重要性を強く実感しています。この研修を通し、今後の保健師活動の核となるような姿勢や考え方を身につけていきたいと思います。

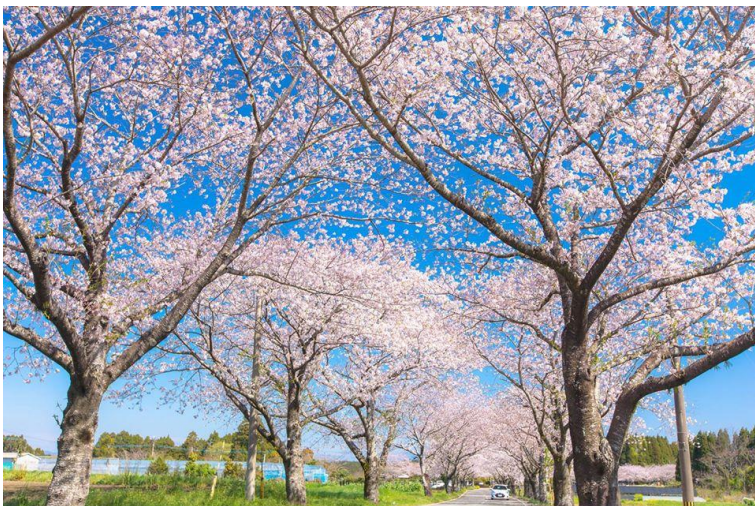


宮崎市健康管理部地域保健課江南地域ケア係

仁田 脇 里沙 さん

フォローアップ研修を通して、先輩保健師やコンサルタントの方から助言をいただきながら、自身の活動の内容や目的を整理し、新任保健師研修Ⅰの受講時からステップアップしたアクションプランに取り組む事ができたと感じています。

研修の中では、他受講生との取り組みの共有や交流もあり、多くの学びを得ることができました。研修での学びを、今後の保健師活動に生かして取り組んでいきたいと思います。



垂水公園（宮崎市）

キャリアアップ研修受講者の声



高鍋保健所 岩田 恵美子 さん

日頃、漠然と問題に感じていたことを「見える化」するチャンスだと思い、令和3年度キャリアアップ研修を受講しました。

研修では、宮崎県立看護大学の中尾裕之教授をはじめ、経験豊かなコンサルタントの先生方に指導助言を受け、データ分析の手法を学んだり、分析する視点の違いに気づいたり、他の受講者の取組を聞くだけでも新たな発見があります。

今後、研修でまとめたものを市町村など関係機関とも情報共有し、住民支援への体制づくりに生かしたいと思います。



宮崎市地域保健課 南部地域ケア係 主査 黒田 恵子 さん

今年度キャリアアップ研修を受講し、様々な保健データを分析し、保健師が統計に関わる事の意義について学んでいます。

コロナ禍で予定した研修の延期等もありましたが、受講生やコンサルタントの先生方と近況を報告しながら楽しく参加しています。

データ分析に根拠を持たせて数字を見える化し、健康課題を明確にすることで地域住民に還元し、事業や政策へと発展させていくということを意識しながら学びを深めていきたいと思っています。



西都原公園（西都市）

新規入会者紹介

令和3年度の新規入会者に、①担当業務 ②保健師になったきっかけ ③心がけていること ④ストレス発散法 について聞いてみました。



武田 真理子さん（延岡保健所）

- ① 結核担当
- ② 大学の実習をとおして、病気を予防する段階で地域の方たちと関わりたいと思ったから
- ③ 相手の思いに寄り添いながら話を聞くこと
- ④ 家族や友人と話すこと、たくさん寝ること



吉田 薫美さん（延岡保健所）

- ① 感染症・結核業務
- ② 看護師として働いていたときに、早期発見・早期治療の重要性を感じたことや、地域によって住民の健康意識が違っていると感じたことがきっかけ。
- ③ 積極的にコミュニケーションをとる
- ④ ドライブ、おいしい食事、たまにお酒



高本 佳代子 さん（宮崎県立看護大学 公衆衛生看護学領域）

- ① 公衆衛生看護学の教育と研究
- ② 保健師雑誌（現在の保健師ジャーナル）に熊本市の実践活動の掲載があり、地域での健康づくり活動に魅力を感じたから
- ③ 看護学生に保健師の魅力を伝えることや楽しさを感じてもらうこと
- ④ 研究（笑）・アロマオイルで癒されています





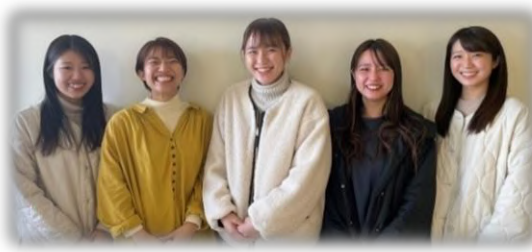
宮崎大学医学部看護学科

『コロナ禍の大学・実習先での学び、保健師への夢』

上原 美希 さん、高山 紗希 さん、土谷 桃子 さん

鍋島 萌碧 さん、原田 あみ さん、山本 明佳 さん

コロナ禍での実習は不安もありましたが、私たちは家庭訪問や健康教育の実施、健診への参加など充実した実習を経験することができました。丁寧なご指導のお陰で、地域住民の生活と健康を守る保健師の役割を肌で感じ取ることができました。令和4年4月から、私たち6人は生まれ育った大好きな宮崎で保健師として働きます。一人ひとりの思いや生活に寄り添いながら、同じ目標に向かって一緒に歩いていくことを大切にしていきたいです。皆さまよろしくお祈りします。



宮崎県立看護大学

『コロナ禍の実習で得られた学びと今後の抱負』

宮崎県立看護大学 保健師課程 7期生

私たちは、保健師課程の実習において、日之影町、川南町、新富町、日向保健所、高鍋保健所、日南保健所で学びを深めました。町の実習では、コロナ禍においても地域の方々との関わりを大切にされた保健活動の展開に努めていることを学びました。保健所の公衆衛生看護管理実習では、管轄地域の健康危機管理体制づくりにおける保健師の役割について考えることができました。今後は、地域の方々の健康を守ることができるように、平時から先を見据えて行動できる保健師になり、地域に貢献していきたいと思っております。



先輩保健師からのエール



延岡児童相談所 工藤 裕子 さん

令和3年4月に50歩移動の異動をしました。精神保健・感染症対策とは少々趣きの違う緊急対応に追われています。児童相談所での保健師の役割は、特定妊婦、乳幼児期、精神障害のある保護者への対応等が主です。福祉職・心理職・教員・事務職と保健所とは違う多職種で「未来のあるこども達への支援」に関わらせてもらってます。

2度目の勤務ですが、法制度や世の中の認識の変化があり、親子ともに処遇困難事例の増加に驚きながら、保健師本来の特性と思われる「早めの対応、予防的な視点」を生かさせていければと日々もがいています。

保健師は医学モデルの思考で行動してしまいがちです。しかしながら、保健師は「いろいろな地域で暮らす人」を対象にしつつ「個から集団へ」の視点も必要となってきます。そのためには他（多）職種を知ってほしいと思います。

仕事で知り合った人はもちろん、そうじゃないつながりも大事に「つながり」しましょう！



宮崎県警察本部厚生課 杉尾 重子 さん



4月から再任用で、宮崎県警察本部健康管理対策室に勤務しており、県内にいる約2400人の警察官等の健康管理業務に携わっています。

メンタルヘルスや感染症等の健康教育から、特定保健指導、休業されている職員の職場復帰支援を行っています。また、ストレスチェック後の集団分析に係わる職場巡回を行って、職場環境改善の提案をさせていただく等、多岐にわたっています。

保健所時代に培ったフットワークで、現在も、個別から集団まで、県内を走り回っている状況です。

後輩のみなさんは、コロナ禍で日々大変な業務をチームワークで乗り越えられたことと思います。これからも、周りの人とコミュニケーションを図り、関係性を構築して、「この保健師さんで良かった。」と思ってもらえる保健師になっていただきたいと思います。

最後に一言、「自分自身のセルフケアをしましょうね！！ 心身を大事にして下さい。」



個人会員 山内 裕子 さん



早いもので、宮崎県を退職して10年になろうとしています。

その間は嘱託として仕事を続けてきましたが、「住民の健康を守る」ことの大切さや難しさを痛感しているところです。健診を受けてもらうことも大切であり、またその後をどのようにフォローしていくのかに頭を悩ませ工夫していくことも重要ですが、住民が自分自身をわかりたいと自覚することが一番ですかね。仕事としての保健師は終わりに近づきましたが、住民として皆様の御活躍を見守りたいと思います。





個人会員 山之上 重子 さん

定年退職して10年が過ぎました。

今まで助産師として病院で、保健師として行政で様々な業務を経験してきました。これから何が出来るのだろうと思っていましたが、現職時代に関わりをもっていた方々から声がかかり、様々な仕事を体験させてもらっています。今は主に非常勤講師として医療、福祉を目指す学生さんたちの育成に関わっています。毎日が自分自身の勉強になっています。また、今年は新型コロナ予防接種の業務にも従事し、無事お手伝いができホッとしているところです。

保健師って地味で目立たないけど面白い仕事だと思います。最近そう思えるようになりました。(少し遅いけど…) どうぞまず今できることに取り組んでください。若いうちは経験はないけどパワーがあります。そして何にでも挑戦してください。経験したことはあとで全部繋がってきます。でも頑張りすぎないでくださいね。自分へのご褒美も忘れないで！

「私野良猫のクロ通称ノラクロです。毎日山之上家に通いお世話になってます。今日は彼女に顔を貸してくれと言われたのでちょいとお邪魔します。なかなかの美人でしょう？よろしくお祈りしますにゃん🐱」



個人会員 柳田 美智子 さん

保健師として勤めていた企業を定年退職し10年が経ちます。

その間、事業所の健康相談、ゲートキーパー養成講座、治療と仕事の両立支援などをゆっくりと続けてきています。今の仕事のベースになっているのは、現役中にメンタルヘルス対策推進のために深め始めたカウンセリングやコミュニケーションスキルにあると思っています。好きなこと、深めたいことを続けていることが今の元気につながっていると感じています。



旭化成株式会社 健康保険組合 大宮司 貴子 さん



令和2年9月より退職前と同じ職場で再雇用にて働いています。

引き続き保健事業に携わっています。弊健保では全国の加入者が対象のため業者委託事業が多いのですが、現在の担当業務ではメール等で個別にフォローする場面もあり楽しんでいきます。

保健師として仕事をするためには、まずは自分が元気で楽しく過ごしていきたいと思っています。笑顔の多い日々を送るために、マスク生活で一層無頓着になった「口角を上げる」とこと、マスク生活で目立つ「眉間のしわを増やさない」ように気をつけたいものです！



保健師のひろば～リレーメッセージ～

宮崎県中央保健所 古川 真帆 さん

当保健所の保健師は 8 名で、2 町(国富町・綾町、人口約 25,000 人余り)を管轄し年度当初から他では珍しい育休者ゼロのオール体制で業務を行っています。

「中央」の特殊性で県下の診(審)査会 2 つの事務局を担う他、一部の公費医療や女性・不妊相談窓口をもつ等、宮崎市保健所や県型保健所間で日頃から連携を密に業務をすすめています。よく住民の方から宮崎市保健所さんと混同されますが、霧島町にある職場の検診を受けるところの建物で大方通じます！

年明け早々からコロナの巨大な第 6 波に見舞われたため、正式に人事課の承認を得て 1 月中旬から勤務体制を変更(原則 3 勤 1 休)し、所内 3 課団結 & 管内の県出先機関から応援も頂いております。



▶▶▶ 次は、日南保健所です。



串間市役所 長友 春奈 さん

第 1 回目のリレーメッセージということで、まずは串間市の保健師の紹介をさせていただきます。

串間市の保健師は 14 名(再任用 1 名含)で、母子、成人、職員管理、病院等の分野に配置されております。分散配置されても、それぞれの課題を共有する場を持てればと、新型コロナウイルス感染拡大前は週に 1 回、お昼を食べながらのランチミーティングを行っていました。感染状況が落ち着いてきたら、再開して行きたいと思っています。



▶▶▶ 次は、日南市です。



旭化成株式会社 健康経営推進室 延岡健康経営支援センター 赤木 真希子 さん

延岡健康経営支援センターには、産業医、保健師、健診・総務担当、運動指導員が在籍しており、連携を図りながら、旭化成グループ従業員約 6,000 名の健康管理を行っています。

人財の活躍・成長とグループ生産性向上・発展のため、メンタルヘルス不調、生活習慣病、がん疾患、喫煙率の減少に加えて、従業員のワークエンゲージメントの向上のため、施策・活動と上記疾患の予防の基盤となる健康保持・増進に取り組んでいます。



▶▶▶ 次は、九州電力です。

第10回日本公衆衛生看護学会学術集会に参加(Web)しました！



保健師職能委員 安藤 優子

日時：令和4年1月8日・9日 担当：大阪市

「平時が大事！リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス」をメインテーマに、講演やシンポジウム、ワークショップ、一般演題、意見交換等が行なわれました。新型コロナウイルス感染症の流行が続いていることもあり、昨年に引き続き今年度もオンライン開催となりましたが、メインプログラム質疑・意見交換はオンデマンドで行われ、全国から多くの保健師が参加していました。

第11回学術集会は、令和5年1月6日（土）・7日（日）に福岡市にて開催予定です。

メインテーマは、「ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待～新たなコミュニティケアシステムの創出～」です。全国の保健師や先駆的な活動と触れ合える機会です。是非皆さんも参加されてはいかがでしょうか。

編集後記

★職能委員より一言★

変化の大きい社会においては、“変化しなければ現状維持すら難しい”と言われます。コロナが収まらない中、時間も活力も限られる中でしたが、委員会活動において、“どこかに工夫を！”の意識で皆さんと取り組んだことが楽しかったです。これからもよろしくお祈いします。（高妻）

続くコロナ禍の中でも新しい企画に取り組んだり、やり方を工夫するなどして活動に取り組んできましたが、職能委員の皆さんの素敵なアイデアにうなったり、本当に助けられてばかりの一年でした。ありがとうございました。（後藤）

コロナ禍でいろいろなことに心が折れそうなこともありますが、こんなときだからこそ、仲間と語り、分かち合い、助け合って笑顔で頑張ろうと思う今日この頃です。（岩崎）

コロナ禍で委員の皆さんと貴重な時間を過ごさせていただき、「保健師交流会（つどい）」等を実施出来たことが思い出になりました。保健師の皆さまとの出会いにも感謝いたします。ありがとうございました。（池田）

今年度初の試みとなった「保健師交流会（つどい）」を開催でき、様々な職場や世代の保健師の皆さんが、楽しんで参加し元気をもらっていた様子がとても印象的でした。今後も、委員会活動が皆さんにより身近なものとなり、保健師の学びや交流の場となっていけたらいいなと思います。1年間ありがとうございました。（横山）

コロナ禍でなかなか思うように活動が出来ませんでしたが、そのような中でも、職能委員の皆さんと一緒に企画から作り上げた「保健師交流会（つどい）」がとても楽しく、貴重な時間でした。ありがとうございました。（安藤）

